

平成 25年 12月 3日

## ベトナムホーチミン市渡航感想文

群馬大学  
工学専攻  
電子情報工学領域  
志水 勲

### 1. 【渡航目的】

#### 1. ICDV2013参加

The 2013 International Conference on Integrated Circuits, Design, and Verification  
Ho Chi Minh University of Science - Vietnam National Universityで開催

#### 2. 企業訪問

RVC(Renesas Design Vietnam Co., Ltd.)、  
TTC(Tan Thuan Co., Ltd.)、  
ベトナム日本電産サーボ会社、

#### 3. 大学訪問

ホーチミン工科大学(Ho Chi Minh University of Technology - Vietnam National University)  
ホーチミン技術師範大学(Ho Chi Minh University of Technical Education)

### 2. 【滞在期間】

平成25年11月12日から同年11月17日

### 3. 【滞在場所】

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

### 4. 【感想】

ICDV2013の会議出席に合わせて日本企業及び近隣の大学訪問を実施した。  
ベトナム社会主義共和国は面積、331,689 平方キロメートル（日本の0.88倍）で  
人口、8,784万人（2011年）で平均年齢が27.4歳という若い国である。首都はハノイ  
で今回滞在したホーチミン市（旧サイゴン）は首都のハノイから1500kmの南側に  
位置している。ホーチミン市は全人口の10%にあたる約800万人が暮らしている。  
今年日本との国交樹立40周年の年に当たり滞在期間の16～17日には日本フェス  
ティバルがホーチミン市の公園で開催され多くの参加者で賑わっていた。  
ホーチミン市ではいたるところ道路にオートバイが溢れているので日本の経済支  
援で地下鉄(ベンタインとスオイティエン間の1号線)建設が行われているのを高速  
道路から見て知ることができた。これはホーチミン市の経済発展に寄与するもの  
である。

企業訪問ではRVCを訪問した。RVCはルネサスエレクトロニクスのベトナムでの  
半導体設計会社である。TTCが開発したタントゥアン輸出加工区に早くから入居し  
てベトナムの大学を卒業した優秀な人材を一人前の技術者に育てながら企業運営  
をしてきた。日本とは違い停電が頻発する環境であることや簡単に離職する就業  
意識の違いを受け入れなくてはならないようだ。現在500人余りの設計者が働いて  
いるがゆくゆくは1000人規模にしたいと抱負を聞かせてもらった。  
次にサイゴンハイテクパークにあるベトナム日本電産サーボ会社を訪問した。ここは  
桐生に本社がある日本電産サーボ株式会社のベトナムの会社である。  
ベトナム日本電産サーボ会社では主にステッピングモータとファンを製造している。  
この製造工程を詳細に案内してもらい各工程とモータの自動巻線機械などに学生  
は新鮮な驚きを感じたようです。

大学訪問では群馬大学を2大学に紹介することができとても有意義であった。

日本の企業からの寄付講座(教室)を講義中にもかかわらず案内してもらい、ベトナム側の配慮が感じられた。

ホーチミン工科大学やホーチミン技術師範大学は学術レベルでも高く評価されている。向学心に溢れた学生からの留学に関する質問などあり、これをきっかけに大学間の交流へと繋がれば双方に有益になると感じた。

学会での発表の件数は群馬大学で11件と飛び抜けて存在感を示すことができた。発表は良かったのですが質疑応答は想定不足を感じさせる学生もいました。今回の経験を今後の研鑽に活かしてほしいと感じました。

この学会でベトナム側の熱意というものを感じさせる機会がありました。それはベトナム側の主催者の一人と昼食時隣合う席での会話で“LSIセンター”を作りたいと話していたことです。



